

シュゼット・ホールディングスのトップパティシエ 駒居崇宏 監修

「魅了する洋梨と栗のタルトパルフェ」全国のスシローにて10月27日より期間限定発売

株式会社シュゼット・ホールディングス（本社：兵庫県西宮市、代表取締役社長：蟻田剛毅）のトップパティシエ駒居崇宏はこの度、「スシローカフェ部」とコラボレーションし、秋限定のスイーツ「魅了する洋梨と栗のタルトパルフェ」を監修しました。

■「スシローカフェ部」コラボレーションについて駒居コメント

「スシロー様のもつ調達力で本格的な商品が手軽に食べられるスイーツを開発し、「スシローカフェ部」の確かな味の商品、素材をもって世の中に魅力的なスイーツを発信できる」と考え、監修させていただきました。フランス菓子の定番スイーツである「タルトケーキ」に着目し、おすしを食べた後でも「すーっ」とくちどけ軽く食べられる、非常に素晴らしいスイーツが完成しました。たくさんの方に食べていただきたい商品です。



■駒居崇宏（こまいたかひろ）プロフィール

1995年に株式会社アンリ・シャルパンティエ（現株式会社シュゼット・ホールディングス）に入社。製造現場で工場長等の経験を積み、現在はテクニカルアドバイザー兼製造本部 本部長。

自社の全商品の開発に携わる傍ら、菓子コンクールにも積極的に参加し、「クープ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー2017」世界第2位（銀賞受賞）、「2013年西日本洋菓子コンテスト」連合会会長賞などの受賞歴を持つ。

<ご参考> 株式会社シュゼット・ホールディングスについて

1969年、兵庫県芦屋市で創業。百貨店をはじめ幅広い販売チャネルを持つ「アンリ・シャルパンティエ」（国内92店舗、海外5店舗）と、カジュアルなラインナップで駅ナカ・駅チカをリードする「シーキューブ」（44店舗）、ミルクレープ生みの親が創る重ね菓子の「カサネオ」（4店舗）の洋菓子ブランドを展開。製造販売のほか、カフェ事業など、さまざまな事業を推進中。世界菓子大会準優勝を果たしたパティシエを有し、創業より生ケーキはすべて手作りにこだわるなど、“世界最高峰の技術でお菓子文化を生み出す会社”として、100年先を見据えたお菓子作りを通じ、さまざまなシーンに忘れられない感動をお届けしています。（店舗数：2021年10月15日現在）
公式HP：<http://www.suzette.co.jp/>

SUZETTE

HENRI CHARPENTIER
ASHIYA 1969

シーキューブ
happy to sweet you

casaneo

back haus IRIE